

## 平成24年度 長崎県大学図書館協議会総会の議事要旨

1. 日時 平成24年6月7日(木) 14:30～16:30

2. 会場 長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス 3号館 4階大会議室

3. 出席館: 11館(19名)

長崎県立大学/佐世保校(阿部)/シーボルト校(坊野・溝上)、長崎総合科学大学(横山・吉田・山川)、活水女子大学(森)、長崎純心大学(岩崎)、長崎国際大学(飯島)、長崎外国語大学(田中)、長崎ウエスレヤン大学(植松)、長崎女子短期大学(森・荒木)、長崎短期大学(河野)、佐世保工業高等専門学校(豊増)、長崎大学(姫野・小川・山本・下田)

オブザーバー: 長崎県公共図書館等協議会(森)

4. 配付資料(総会資料等)確認:

開会に先立ち、会場館である長崎総合科学大学の吉田課長から、配付資料等の確認があった。

5. 開会:

本日は、全11館の全館が出席で過半数であるため、会則により総会は成立するという事で、定刻に開会された。

なお、長崎県公共図書館等協議会からオブザーバーとして1名が出席されていることが報告された。

続いて、会場館である長崎総合科学大学附属図書館の横山館長から、さらに代表 幹事館である長崎大学附属図書館の姫野館長から挨拶があった。

出席者自己紹介の後、慣例により会場館の横山館長が議長に選出された。

6. 議題

(1) 会員館の退会について

長崎玉成短期大学の退会について、事務局担当(長崎大学・下田班長)から平成24年3月末で閉校のため、退会届(資料1)の提出があった旨の報告があり、了承された。

(2) 平成23年度事業報告について(資料2)

(3) 平成23年度決算報告及び監査報告について(資料3)

標記のことについて、資料2および資料3をもとに事務局担当(長崎大学・下田班長)から説明があり、一括して審議された。

また、監査館である活水女子大学(森課長)から監査報告があり、ともに承認された。

なお、平成23年度事業と実施した協議会ホームページは、各館情報のデータベース化及び自館情報のメンテナンスを可能にすることを中心にホームページを改造し、充実を図り、現在、最終的な調整中との補足説明があった。

また、長崎大学附属図書館の姫野館長より、協議会ホームページを加盟各大学の特色あるコレクション公開のポータルとして欲しい旨の要望があった。

(4) 役員館等選出方法の見直し(案)及び会則等の改正(案)について(資料4)

標記のことについて、資料4をもとに事務局担当(長崎大学・下田班長)から以下のような説明があり、一括して審議された。

平成23年度長崎県大学図書館協議会総会で、会計期間を4月から翌年3月までとする会則改正の検討と、幹事館、研修企画委員の役員(役割分担等)についての整理・見直しの提案があり、次回(平成24年度)総会で協議することが承認された。

事務局担当（長崎大学・下田班長）から、改正内容については、平成23年度幹事会及び研修企画委員会で協議し、配布資料のP14「長崎県大学図書館協議会 役員館等選出のためのローテーション表（案：20120511）」、配布資料のP15-16「長崎県大学図書館協議会 会則（改正案：20120511）」（改正箇所は朱記で修正分）、及び配布資料のP17「長崎県大学図書館協議会 研修企画委員会 内規」（改正案：20120511）」（改正箇所は朱記で修正分）の説明と提案があった。

役員館等選出のためのローテーションは、当該年度に選出予定館の事情等により受託できない場合、変更が可能かとの質問があり、事務局担当（長崎大学・下田班長）から可能との回答があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

#### （5）平成24年度事業計画（案）について

標記のことについて、資料5をもとに事務局担当（長崎大学・下田班長）から説明と提案が審議された。

長崎県公共図書館等協議会の森事務局長から、実務研修会で、講演予定の講師 湯浅俊彦氏（立命館大学文学部准教授）は日程調整がとれず、常世田良氏（社団法人日本図書館協会理事、立命館大学文学部教授）に変更となった旨の補足説明があった。

長崎国際大学 飯島課長から、実務研修会の「WEKOを使ったりポジトリ構築」については、講師を開発元の国立情報学研究所と調整しており、場合によっては、同研究所主催のリポジトリ支援事業の研修会での開催になるとの補足説明があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

#### （6）平成24年度予算計画（案）について

標記のことについて、資料6をもとに事務局担当（長崎大学・下田班長）から説明と提案が審議された。

審議の結果、原案どおり承認された。

### 4．報告等

#### （1）各館の当面する諸問題について

長崎純心大学から事前に承合のあった「保存スペースの狭隘化問題について」については、各館より回答文書の提出があり、当日別冊として配布された。

各館からの報告は、回答文書の補足説明と自館の課題や問題等の説明があった。

また、長崎県立大学より、雑誌の最新号の貸出についての承合があり、各館の貸出規則や対応が報告された。

長崎総合科学大学

- ・保存スペースの狭隘化対策は、蔵書点検を実施し、書架スペースの確保を図っている。

長崎県立大学 佐世保校

- ・書架の所蔵スペースが満杯で、現在、新校舎建設に併せ、図書館増築の計画がある。
- ・新図書館には、ラーニング・コモンズの空間づくりを構想している。

長崎県立大学 シーボルト校

- ・昨年度、不明図書廃棄、除籍処理を実施した。

- ・雑誌の最新号の貸出対応について、各館の実状を知りたい。

#### 活水女子大学

- ・2014年4月の windows X Pサポート終了に伴い、2013年度中に windows 7 対応の図書館システム更新と機器更新を実施するため、今年度はその予算化と事前調査を実施する。

#### 長崎純心大学

- ・保存スペースの狭隘化問題への対策が急務で、各館から回答を参考取り組みたい。

#### 長崎国際大学

- ・電子ジャーナルの導入で、書架スペースの確保に寄与している。
- ・eブックを導入しているが、ダウンロードや学外からの利用等の課題がある。

#### 長崎外国語大学

- ・外国語大学のため語学等の特定分野の図書が多く、言語関係の分類が集中している。特定分野の分類展開を、独自に導入している図書館の実状を知りたい。

#### 長崎ウエスレヤン大学

- ・図書館でのコミュニティ・サービスに関する授業の単位化を実施している。

#### 長崎女子短期大学

- ・貸出は増加しているが、図書館の利用人数は減少している。そのため、学生による選書や入館者の増加につながるイベントを実施している。

#### 長崎短期大学

- ・別室に保管している雑誌のバックナンバーの書架スペースの確保が問題となっている。
- ・保育関係の図書分類については、実習で利用し易い分類の工夫を実施している。

#### 佐世保工業高等専門学校

- ・利用者が高校生から大学生と年齢層に幅があり、また、寮生が多いという事情もあるので、利用し易い配架方法、貸出規則、提供方法を実施している。  
(分類展開は3 - 4桁、雑誌は1週間の貸出等)

#### 長崎大学

- ・書架対策については、数年前、放送大学が新設される際に、書架を増設した。また、現在、中央館はリニューアル中で、閲覧利用スペースの改修を実施している。
- ・複本を整理し、書架スペースの確保を図っている。
- ・医学分館は、電子ジャーナルの導入し、不要な雑誌の廃棄を実施している。

(各大学からの報告は、特記事項のみ記載し、詳細の記録は割愛した。)

## 5. 閉会

最後に、来年度会場館である、活水女子大学 森課長から挨拶があり、本日の議事・報告事項は全て終了し、平成24年度総会を閉会した。

なお、閉会后、希望者のみ、会場館である長崎総合科学大学附属図書館を見学した。

以上